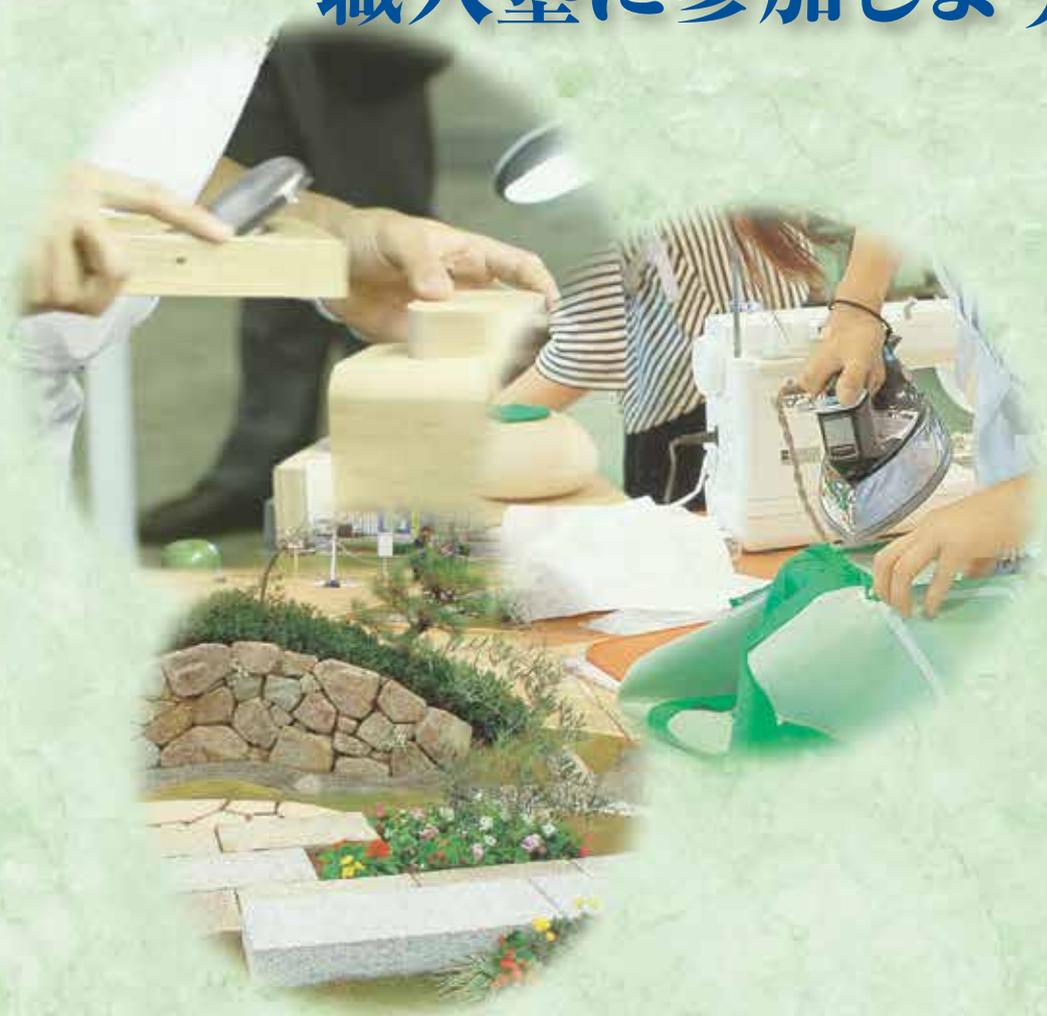


職人塾

東京都委託事業

ものづくりのプロをめざす
職人塾に参加しよう!



東京都職業能力開発協会

職種 タイル張り

(浴室、台所の内壁や玄関ポーチ、ビルなどの外壁工事)

国内メーカーを始め、輸入タイル・オーダーメイドタイル等幅広く施工いたします。また化粧ブロックやレンガ積み・モザイクタイル・大理石の施工も行っていきます。対象は大型店舗内装から一般住宅まで幅広く手がけています。室内では浴室、台所などの水回りの場所、外回りでは玄関のポーチ、舗道、ビル・店舗等の外壁工事などでタイルを張ります。また、タイル張りの仕事に関してレンガやブロックなどを積んだり、左官の仕事や簡単な大工工事もすることがあります。

今はリフォームの仕事で公団住宅や一般住宅の室内現場や店舗の外壁タイル、改修工事などが主な仕事です。タイル張りは建物の化粧ですから、仕上がった時のタイルの素晴らしさと自分が仕上げた満足感は何よりも代えがたい喜びを感じます。



実習体験談



初めての体験だったが分かり易く指導して戴き納得のいく実習でした。現場実習した時お客さまから、お陰様で綺麗になりました、ありがとうございますとお礼を言われた時は感動しました。

職種 畳製作

(住宅等の新畳製作や表替え、裏返しをおこないます)

畳は日本固有の伝統文化であり、日本人には欠かせない生活文化の要です。また畳は人と環境に優しい健康的な敷物です。特に畳表として使われる蘭草(いぐさ)は日本の湿度の高い気象条件に合った吸湿、放湿効果の高い敷物であり緩衝性にも優れています。

畳製作の仕事は、新築(一般住宅・寺・神社など)の「新畳製作」、古い畳表をはがし、新しい畳表に張り替える「表替え」や現状の畳表をはがし、畳床を修正し、畳表を裏返して逢着し仕上げる「裏返し」などがあります。畳製作の仕事は、畳を敷く場所に合わせて採寸し、逢着し、敷き込んだ時に隙間など空かずピッタリ納まるのは当然なことですが、斜め丸などの難しい施工であればあるほど畳寄せに納まった時の満足感、何物にも代えがたい喜びを感じます。体験実習では、主に畳についての基本的な知識・採寸方法・機械縫い・手縫いの基本作業などを行います。



実習体験談



畳の縫い方は一通り教えて戴きましたが、一人で作業していくにはまだまだ修行を積まなければならないことを痛感した20日間でした。他の職人さんの仕事も見させて戴きましたが、スピードと正確さに驚かされました。畳の仕事はお客様と直に触れ合うことができ、お客様に喜ばれる仕事だと思いました。

職種 造園

(自然の石、植物を使い、庭を造ったり、庭園の管理をします)

一般の住宅、社寺、公園などの樹木の剪定から庭園工事に関する仕事で以下のような作業を行います。

- ①造園の伝統技法を駆使した日本庭園や竹垣の作成、樹木の管理
- ②レンガや草花を使い、洋風の庭の作成
- ③門、塀、アプローチなどお客様がイメージするものを提案、図面化し施工する またそのほかに
- ④経験によって技能検定、施工管理、建設機械等の資格取得が可能
- ⑤受入事業所によっては、造園業以外にも幅広い関連業種を展開しているので、色々なことが学べます



実習体験談



ものづくりの楽しさ、自然石の表情の多様さと、その表現の難しさを実感しました。また、モルタルの作り方、混ぜ方、各道具の名前などを教えて戴きました。石積みの様子もまじかで見ることができました。作業が終わった後の道具の掃除、管理の大切さも教えて戴きました。大変有意義な20日間の実習でした。

職種 内装仕上げ

(壁紙、カーペットなどで床、壁、天井を美しく快適なものに仕上がります)

ビル、店舗、住宅などでの内装工事は工事最後の化粧です。内装工事は壁紙・カーペット・カーテンなどを施工し、工事全体の出来ばえを左右するものです。技術者の技の真価が問われます。近年、人に優しい環境ということで新たな壁紙などが数多く開発されています。壁紙工事においてもこれらに対応するため常日頃より技術研鑽に努め、お客様の幅広い要望に対応していくことが求められています。

住む人に安らぎを与える、若者のセンスが求められ生かされる、やりがいのある仕事です。



実習体験談



クロス張り、カーペットの敷き方により店舗の様子が見違えるように綺麗になっていく作業を目の当たりにし、しかもその作業を直接指導していただきました。短い期間の実習体験でしたが大変参考になりました。内装仕上げの仕事に興味が沸いてきました。ありがとうございました。

職種 建築大工

(伝統的な大工技術を基に、家を造ります)

一般的に大工といっても宮大工、町場大工、型枠大工と三つありとも言えます。

その中で住宅専門の仕事をするのが町場大工です。

昔から人が生活を営むには衣・食・住が大切と言われていますが、人間にとって人が住まう、休むという器が家であり、いろいろな形で住むことに関心を持ち、創意工夫をして来ました。

本来の木の家は、大工自身が作業場で木材にほぞやほぞ穴を手刻みし、現場では伝統的な「木組み」の技術で家の形に組み上げていきます。

しかし最近の家造りは、工場でプレカットした木材を現場で金物を使って接合することが多く、伝統的な大工技術が十分に活かされなくなってきました。

当所では今失われようとしている職人技術、大工技術を伝承・継承して伝統工法を基にした家造りができる建築大工を養成しています。

優れた技と知恵があつてこそ、木の良さを最大限に活かした家ができます。



職種 建具製作

(玄関ドアや障子、ふすまなどを製作します)

建具は、皆さんの住まいにもある身近で大切な役割をしているものです。玄関のドアや間仕切りドア、障子やふすまといったものを建具(たてく)と言います。

日本古来からの純和風建築はもちろん、現在の洋風の戸建て住宅、マンションなどの室内外で幅広く使われています。特に木製の建具は、日本の気候に最も適していると言えます。木の香りや温もりなどを感じながら仕事をするのは最高です。建具は種類が多いので、いろんな仕事ができます。

また、いろいろな道具をうまく使いこなすには時間がかかりますが、うまく使いこなせると、とても仕事を楽しめます。



実習体験談



幾つもの木材を加工して、上手につなぎ合わせたものが外枠や格子となり、それがふすま、障子、ガラス戸、ドアなどに移行行く様子を目の当たりにできたことに感激しました。短い期間でしたが職人塾を受講できて大変参考になりました。建具職人を目指し頑張っていこうと思っています。

職種 家具製作

(いろいろな木材を使って家具を作ります)

家具製作には大きく分けて既製家具と注文家具に分けられます。特に注文家具はお客様の要望を十分に聞きながらデザインし製作していきます。主に製作しているものは木製の机、テーブル、棚物(書棚・戸棚・食器棚など)、くくり付け家具などです。家具を製作するにあたっては、木材の種類と性質、結合部の構造を理解するなど、先人の知識と工夫を知る事が重要だと思えます。また、木工加工が好きで好きでたまらない人にとっては毎日が夢の世界です。材料となる木は種類も多く、加工する時の状態や環境などによって使い分けをしなくてはなりません。さらに木と木の結合技術もまたしかり、それらの知識・技能を結集して製作することは木工職人の醍醐味でもあります。



実習体験談



使用する木材の種類が多いことと、それぞれに性質が異なり使用目的に沿った加工の仕方にも特徴があることが分りました。また木工機械や工具の種類も多く理解できないものも多くありましたが、親切に指導していただき感謝しています。是非この仕事をやってみたい。

職種 いす張り

(いすの製作、修理、張り替えなどを行います)

ウレタンフォームなどのクッション材を入れ、牛革やビニールレザー、布地等を張り、仕上げる仕事です。

- ・椅子の使用目的(業務用、家庭用、乗物用)、使用場所の雰囲気(モダン、クラシック等)や腰掛ける人の座高、腰掛ける時間の長さに応じて、製作方法やクッション性を考慮し張り上げる技能が必要で。
- ・新規製作の他に、永年使い込んだ思い出の椅子の張り替え修理などがあります。
- ・お客様のためのいすづくり、身体にあったいすづくり、いすの製作を全て手仕事で行っているため、利用されるお客様の身体に合ったクッション性、スタイルなど好みに合わせて作らなければなりません。お客様との触れ合いを大事にしていく仕事です。お客様から喜ばれる仕事です。



実習体験談



いす張りの仕事は初めてでしたが、今回の経験で技術的なことと共に、職人さんの仕事への取組み姿勢や仕事へのプライドなどを感じとることができました。またお客さまの身になって仕事をするこの大切さを実感しました。それはどのような分野でも共通するものだと思います。この経験を自分の人生で活かしてゆきたいと思っています。

職種 木工塗装

(家具、什器、床板、ドアなどの木工製品の塗装)

天然の木目の温かみを活かした塗装や特殊な技法による木の面白さを表現した木工塗装、また表面を鏡のようにきれいなつやを出した仕上げ加工など、職人の作業を間近に見ることができます。

きれいな仕上がり、そこに至るまでには多くの経験や技能の積み重ねがあります。

体験実習では、木工塗装に関わる木工製品の取り扱い、塗装作業の正しい作業姿勢、安全対策などの基本的な知識と技能を学んで戴きます。

具体的にはコンプレッサー、スプレーガン、塗装用ブースなどの塗装用器具の取り扱い方及び塗料などの安全管理の仕方などについて学んで戴きます。



実習体験談



塗装作業は木の持っている温かみや色合いを、なるべく自然に近い形で美しく仕上げる工夫。そこには長年の経験に基づいた工具の使い方や塗料の扱い方が技能の形で表現されています。短い時間であったが職人さんたちの素晴らしい技能を間近に見ることができ大変勉強になりました。

職種 指物(江戸指物)

(伝統的な技術や技法を駆使して和家具を作ります)

指物とは、畳の上で使う木製家具のことで、釘を使わず木に溝を彫って差し込むことから指物と言われています。伝統工芸品である江戸指物は、金釘を一本も使わず板と棒を組み合わせるだけで仕上げ、繊細かつ堅牢、そして江戸の美意識が伺える和家具を指します。使用する板厚は薄く、棒は細めに仕上げているため、一見華奢に見えますが、見えないうところに柄組(ほぞくみ)や組み手を駆使しているのが堅牢です。また、木目を生かすために取手などの金物は最小限度しか使いません。「拭きうるし」といって、何度も生漆(きうるし)を塗っては拭く塗装をして木目を生かします。一つ作品は一人の職人が、手作業で最後まで責任を持って完成させます。古くから伝統的製法を受け継ぎながらも、形態を時代の生活様式に合わせる柔軟性も合わせ持ち、和室はもちろん洋間に置いても違和感を覚えなない作品です。



実習体験談



実習で、小さなイスを作りしましたが、木の木目を読み間違えたり、ほぞ作りをした時、穴に旨くほぞが入らず苦労しましたが、完成した時の感激は忘れることができません。お陰様でノコギリやカンナ、ノミなどの使い方を学ぶことができました。20日間でいろいろなことを教えて戴きとても感謝しています。

職種 江戸表具

(色紙、掛け軸、屏風、襖などの製作、補修を行います)

表具・経師の仕事は、仏表具の新規・修復や色紙、掛け軸、屏風、襖、額装や建造物の障壁画などを、紙と裂地を糊で張りながら製作したり修復、補修をするものです。日本の歴史の重みを感じさせる和の伝統文化です。これまで培われた伝統技能を大切に守りながら、現代に融和させ日本はもとより世界に適應できるよう更なる普及と進歩を目指しています。

近年は、伝統技法を基に現代生活に活かせるよう侘(わ)びと寂(さ)びの精神を持って、お客様に感謝し、代々伝わる信用と技術の大事にして、更に技能を磨き、伝統工芸を守り後継者の育成にも取り組んでいます。

体験実習では、表具・経師の作業工程を体験していただきながら、仕事に対する心構えと道具などの取り扱い方や表具・経師の作業と歴史を体験することができます。



実習体験談



20日間の短い日程でしたが、基礎の無い実習生に対し大変親切に細かいところまで指導していただき感謝しています。掛軸、襖などの補修の仕方なども教えていただき充実した実習をすることができました。

職種 日本調理

(日本の文化には欠かせない日本料理を作ります)

現在の日本の食文化は多様化してきていますが、その中で日本の文化でもある日本調理は、とても幅の広い職種です。特に平成25年12月、「和食：日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことから、世界的に注目されている「食」です。

食材に合った調理方法、切り方、煮方などの基本をしっかり勉強する事が肝要です。また、食の安全という観点から、食材の状態、善し悪し、仕入れはもちろんですが、自分の健康状態にも充分気をつけなければなりません。

- ※調理の実験実習を希望される方は、実習に入る前に健康診断と検便の検査が事前に必要です
- ・手荒れのしやすい体質の方やアレルギー体質(植物アレルギーなど)の方は、この職業には不向きです
- ・以上は食品衛生上の問題ですので、体験希望されてもお断りする場合があります



実習体験談



洗い、切る、煮る、盛り付け、食器の扱い方などいろいろのことをたくさん教えて戴きました。あっという間の1ヶ月間でしたが、大変貴重な意義ある実習をさせて戴き感謝しています。日本料理を職業にしていっしょに作っていただきました、ありがとうございました。

職種 洋裁

(オーダーメイドの婦人服の製作)

お客様の依頼により、好みや希望を聞きながら、お客様一人ひとりに納得のいく婦人服を仕立てます。作業の工程は次のとおりです。

- ①お客様の要望をつかみ、デザインを考える
- ②寸法を測る
- ③製図
- ④裁断
- ⑤仮縫い
- ⑥補正
- ⑦本縫い
- ⑧納品

また、リフォームや部分直しの仕事もあります。



洋裁の仕事は好きであれば一生続けられる仕事です。

今の時代は安い既製服が海外から入ってきます。しかし豊かになればなるほど、人間の好みは多様化していきます。気に入った一着をずっと着続ける方もいらっしゃいます。今後そのようなこだわりを持つ方が増えていくのではないだろうかと思っています。この仕事は人の出来ないことをやっていることに自負や自信を感じられ、単に生活するだけでなく、生きがいややりがいに通じます。

実習体験談



20日間という日程は一から洋裁を習う者にとって基本の土台を固めるうえで貴重なものとなりました。一つ一つの作業の意味を理解し、手順も日々の実習で身につけてきたと思います。今後は学んだことを確実に自分のものにしていくために、さらに勉強をしていきたいと思っています。洋裁技術の魅力を実感させて戴く、最高の機会を与えていただいたことに感謝しています。

職種 和裁

(着物を布地から手で作る仕事です)

着物の種類は多く、振り袖・付け下げ・小紋・長襦袢・浴衣・コート・羽織などがあります。これらの着物は、針と糸を使って一枚一枚端正に縫い上げていきます。一枚の反物から着物となり、お客様に喜んでいただいた時は、作り手の喜びもひとしおです。日本古来の着物の素晴らしさを自分の手でオーダーメイドにより作成していきます。上達するに従い高級な着物を縫い上げるようになると例えようのない幸福感と満足感が味わえます。また、色々な着物を縫うことは、とても楽しいことです。



実習体験談



運針、布地の扱い、はさみやアイロンのかけ方などの基本的な知識や技能を親切・丁寧に指導していただきました。実習では、肌襦袢を完成しました。その後はティッシュ入れや匂い袋などの小物を作りました。先輩の実習終了生にも大変親切にいただき感謝しています。和裁の仕事の楽しさを実感できました。

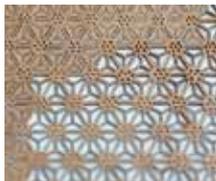
職種 伊勢型紙

(着物や手拭などの図柄を布地に染める時の元となる型紙を製作します)

伊勢型紙は、友禅・浴衣・小紋などの柄や文様を着物・手拭などの生地にも染めるのに使われる伝統的な用具です。柿渋いによって張り合わせ、補強のために紗を張った和紙を台座とし、彫刻刀で図柄を彫っていきます。

図案は、染屋からの依頼で図案師が描き、それを元に彫られます。柄や色によって型紙を使い分けるので一枚の型紙は一つの柄になっています。そのため友禅のように様々な柄や色を用いる場合は何百枚もの型紙を使うことがあります。

普通の絵とちがって線がつながっていますが彫った時に柄が落ちないように逃げというつなぎを作るなど、根気と集中力が必要な作業です。型屋と染屋が協力して、より良い着物や手拭が作られています。



28年度新規の職種です。実習では工具の取り扱いから、簡単な図柄の彫りまで基礎的な体験ができます。

職種 本染手拭

(生地準備、型付け、染色など手拭い製作の基本を学びます)

日本の文化である手拭いは、世界でも類を見ない「注染」という技法で染め上げています。注染手拭いを染め上げるためには、さまざまな職人の手作業の連携がそこにはあります。生地準備、生地巻き、型付け、染色、洗い、乾燥、仕上げと各工程それぞれは一見単純に見えますがいずれも熟練した職人の技が要求される世界です。

機械染めにはない本物の手染めの味は、注染ならではの価値があります。

様々なデザインの手拭いを自分の手で染め上げていく楽しさ。また、手染めならではの、染めるたびに異なる微妙なニュアンスと味わいを表現できるのは職人冥利に尽きます。



実習体験談



生地や道具を手際よくコントロールし染め上げていく様子を間近に見ることができました。20日間の間、職人の皆さんから親切丁寧に指導していただき、染めの工程をそれぞれ体験させていただきましたが、思うようにいかないまでも大変貴重な経験をさせていただきました。誇りを持って自分の仕事に情熱を注ぐことのできる場だと感じました。

職種 捺染(東京染小紋)

(着物や帯などを型紙を使って染色します)

捺染とは、プリントの事です。一般的な工程(直接捺染法)は、

- 1 染料や助剤をのりと練り合わせて捺染のりを作る
- 2 それをスクリーンやローラーなどのプリント機械(捺染機)を使い、布生地にプリント(印捺)する
- 3 水蒸気で加熱(スチーミング)し染料をよく布生地に浸染させ定着させる(発色させるとも言う)
- 4 洗浄液で洗浄(ソーピング)し付着染料などを除去
- 5 水洗した後、乾燥して幅を整え製品とする、となります。

伝統的工芸品「東京染小紋」のルーツは、遠く室町時代にさかのぼりますが、当初はもっぱら武具である鎧の革所や家紋などに用いられていたもので、江戸時代に入って、小紋は身分や時代を超えて一般の人々に愛されるようになり、今日に至っています。現在は着物だけでなく帯や襦袢等、様々な物に活用されています。今後も、伝統工芸品としていつまでも伝えていきたいと思っています。



実習体験談



一つ一つ丁寧に教えていただき感謝しています。道具の使い方など、実際に手本を示して下さり、とても分かりやすかったです。また職人さんのリズムカルで素早い手さばきには、無駄な動きが無く圧倒されました。

職種 手描友禅

(着物の模様を、手描糸目友禅の技法で描くものです)

日本を代表する染物「友禅」染めには、京友禅(多彩な柄模様)、加賀友禅(写実的で絵柄も花鳥が多く、虫食い・ぼかしが作られている。)江戸(東京)友禅(色数をおさえた物が特徴)などがあります。友禅染は江戸時代中期頃(貞享年間)京都の扇絵師・宮崎友禅齋によって創始されたと言われていています。全工程は手作業です。

手描友禅の技法(工程)は寸法取りや図案を考案していくことから始まり、完成する仕上げまで、下絵、糸目、彩色、水洗い(水元)など幾つもの工程があります。

その中でも糸目糊をおく技能は大変重要な役割をします。糸目糊おきは着物などに絵柄(模様)をつける技能ですが、着物以外にも帯、フクサ(祝儀袋などを包むもの)、風呂敷などにも糸目模様を施します。体験実習では手描友禅の歴史や工程を理解しながら、主に糸目模様をつけることを学びます。



実習体験談



実習は、友禅染めの工程、着物に関する説明。図案の下絵、のりを置く、色付け練習。布地に下絵を描く、糸目、彩色、水洗いの各工程などを学ぶことが出来ました。初めての体験でしたが親切に分り易く教えていただき感謝しています。

職種 貴金属装身具

(金属系の装飾品をデザインからオリジナルを作ります)

主に指輪、ブローチ、ペンダント、ブレスレットなどを作っています。これらは通常の作業手順としてデザイン、材料を決め、型を決める原型を作ります。原型が出来たら鑄型を作り、そこに材料を流し込み、糸のこ、ヤスリなどで細工をして、最後に仕上げとして磨きの作業をします。

これら一連の作業は、基本的なやり方はこちらなのですが、熟練になると独自の製法をあみ出したりと奥の深い職種です。

形が何も無いところから始めてデザイン、細工。仕上げの段階を経て製品が出来上がっていくところは、ものづくりの喜びを感じます。



実習体験談



憧れを抱いていた職人さんの世界を体験できました。短期間ではありましたが、大変きめ細かく指導していただきました。実習では一人でも作っていただける基礎技術を学ぶことができました。このような機会が得られたことを感謝しています。先生から教わった様々な事は、今後の職業選択等に生かしていきたいと思えます。

職種 印章彫刻

(書体練習と切削及び彫刻の基本技能を習得します)

我が国における印章の役割は、長い歴史の中で現在も重要な役割を担っています。これからも印章の役割、大切さは変わらないことと思います。

- 印章 (はんこ) は、
- ①唯一無二本人の証拠
- ②私有財産を守ること
- ③契約時の意思確認

以上、三つの大きな役目をするものです。

・仕事は、①印材を選ぶ②印面を磨く③文字を書く④荒削り⑤仕上げの順に行います。荒削りでは機械による作業も行いますが、ほとんどが手作業となります。



実習体験談



書体練習と切削工具及び専用機械を使いながらゴム、石、木などの材料に文字を刻みこんでいく印章作業は大変細かく神経を使うものですが、毎日楽しく実習することができました。職人熟終了後は業界の講習会に参加させていただきながら勉強を続けていきます。将来的には技能検定の資格を取得して一人前の技能者になればと考えています。

職種 邦楽 (東京琴)

(琴本体の製作から糸締、修理、販売を行います)

人に優しい、安らぎを与える音色(ねいろ)を醸し出すのが琴です。琴の製作工程は甲羅作りから調弦まで幾つもの段階を経て製品になります。製作には手作り(手仕上げ)と機械仕上げの2種類があります。手作りは長い年数と根気が必要となりますが、丹念に仕上がった琴をお客様が手にして満足された様子を見ると格別な思いがあります。

最後の行程に糸締め(糸メ)がありますが、琴の出来栄を左右するとても大切な仕事です。

糸締めの作業は、締め棒という道具と、調子笛だけで糸を張っていきます。最初は手が痛くなりますが、慣れるに従い手の痛さも和らぎ、張り加減も分かってきます。糸張りの強弱は音の高低、音色の良し悪しを決定づけるものです。正確なチューニング(調律)は大切な作業です。正しい指導の下で琴の製作にチャレンジしてみませんか。



職種 和竿製作

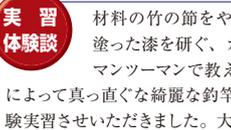
(竹を使い海釣り用の和竿を製作、販売、修理を行います)

伝統工芸品である和竿には、川で釣る竿と海で釣る竿の2種類があります。国産の竹を使い海で船に乗って釣る竿(横浜竿)を製作しております。天然素材の竹は一本一本それぞれの太さや弾力の強さが違いますので、その違いによって釣る魚に適した竿を決めて製作します。

3年間乾燥させた竹を火であぶり、曲がっている箇所を真っ直ぐに直し、仕上がりの寸法を計算して竹を切り、補強のために糸を巻きつけ、その上に漆を何度も塗り重ね丁寧に仕上げます。最初から最後まで漆を使って仕上げているので存在感のある、とても美しい逸品となります。



実習体験談



材料の竹の節をやすりで磨く、糸を巻く、漆を塗る、耐水ペーパーで塗った漆を研ぐ、ガイドの取付、リールシートの取付など一連の作業をマンツーマンで教えていただきました。曲がっていた原材料の竹が職人の手によって真っ直ぐな綺麗な釣竿になって行く作業を見せて戴きながらその一部を体験実習させていただきました。大変貴重な良い実習をさせて戴き感謝しています。

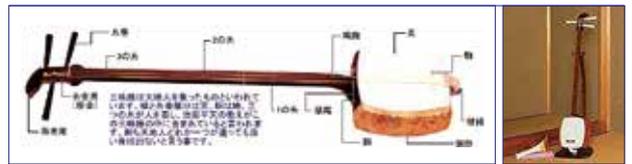
職種 邦楽 (東京三味線)

(三味線本体の製造から修理、皮張り、販売を行います)

三味線は日本の伝統音楽で、古くは室町時代より続く日本を代表する楽器の一つです。江戸時代に入ると歌舞伎音楽の発達と共に、江戸の町を中心にして一種の文化が発達し三味線音楽も盛んになってきています。三味線自体も江戸風の「粋」さが強調された細棹に改良され、この独特さが現在まで継承されて東京三味線と呼ばれています。

三味線の製作からあらゆる修理、皮張りと一緒に一連の作業をこなします。特に三味線演奏者の好みの音色にするために張り上げる作業は、とても醍醐味があります。(皮の張り方次第で音色も変わってきます。)これらの作業は、伝統工芸を未来に継承するものです。

体験実習では三味線の基礎知識から皮張り、棹(さお)の修理まで全般に学ぶことができます。



職人塾は「ものづくり職人」&「ものづくりに興味を持つ若者」とが出会う場で、これまで積み重ねてきた技能を人に伝えたい、又は技能を身に付けたい、その橋渡しをするのが**職人塾**です!

匠の技を誰かに伝えたいネ!



指導者・事業者

- ・原則として、都内でものづくりの事業を営む方
- ・技能士会又はそれに準ずる団体の推薦を受けた方

技能を身に付けたい手に職を付けたい



実習生(応募できる方)

- ・未就業者または臨時的な職に就いている方(除学生)
- ・年齢は34歳以下の方
- ・ものづくり業界に就職を希望する方

技術指導

平成28年度の予定

指導者

★実習指導者

- ・実習生受入れの希望の方は、東京都職業能力開発協会にお問い合わせください。受入事業所として登録するには、東京都技能士会連合会や職種別同業者組合などの団体推薦や認定職業能力開発施設の指導者、技能検定一級技能士などであることが必要となります。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

実習生

★職場体験実習希望者

- ・説明会申込開始
5月25日(水)より随時受付
- ・募集人員 年間 40人
(募集人員に達した時点で締め切りますのでご了承ください。また、職種・事業所によって受入れられる人数が異なりますので、ご希望に添えないこともございます)

★申込方法

下記の所へ電話又は来所により説明会参加の予約をし、説明会終了後申込となります。(申込は任意)

実習

★実習期間

6月下旬～平成29年2月末までの間の連続した1ヶ月で、実習日数は20日間

★職種

日本調理、内装仕上げ、いす張り、家具製作、洋裁、和裁、貴金属装身具、タイル張り、印章彫刻、建具製作、造園、本染手拭、木工塗装、捺染、江戸表具、手描友禅、畳製作、和竿製作、邦楽器製作、指物製作、建築大工、伊勢型紙

職人塾の目的

高度な技能を持つ職人の指導のもと、若者に「ものづくり」の職場体験実習をしてもらい「ものづくり」業種への就業の「きっかけ」にするとともに、技能の継承や後継者の育成を目的としています。

※職人塾は必ずしも就職に結びつくものではありません。
昨年度実習先の事業所等に就職された方は1割程度です。

職人塾の特徴

- ・現代の名工、東京都優秀技能者、1級技能士など優れた匠の技を持つ第一線の指導者から指導が受けられます
- ・基本から丁寧な指導が受けられます
- ・無料で職人技の指導が受けられます(但し、交通費などは自己負担)

ものづくりの振興と若者の就職をめざす職人塾の流れ

職人塾説明会申込(電話・来所)

職人塾説明会(各回定員10名)

実習希望者説明会

職場見学会(一日)

職場体験実習(20日)

申込・問い合わせ先

東京都職業能力開発協会(千代田区飯田橋3-10-3 7階)

TEL 03-5211-2353 平日: 9時00分~17時00分まで(土日・祝祭日は休業しております)



最寄りの駅

飯田橋駅から

- JR総武線 東口下車徒歩7分
- 東京メトロ東西線
A5出口より徒歩3分
- 東京メトロ有楽町線・南北線・都営地下鉄大江戸線
A2出口より徒歩7分

水道橋駅

- JR総武線 西口下車徒歩5分

九段下駅

- 東京メトロ東西線
7番出口より徒歩8分
- 東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄新宿線
3番・5番出口より徒歩10分